

教科目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

1学期 主な学習内容 (30時間)	2学期 主な学習内容 (41時間)	3学期 主な学習内容 (34時間)
【体育分野】 1 体づくり運動 2 陸上競技 (短距離走・リレー) 3 ダンス (創作ダンス) 4 水泳 5 球技 (ゴール型) 【保健分野】 6 障害の防止	【体育分野】 1 器械運動 (マット運動) 2 球技 (ベースボール型) 3 陸上競技 (ハードル走) 4 運動やスポーツの多様性 【保健分野】 5 障害の防止 6 健康な生活と疾病の予防	【体育分野】 1 球技 (ネット型) 2 陸上競技 (長距離走) 3 武道 (柔道) 【保健分野】 4 健康な生活と疾病の予防

評価の観点と規準 (各観点の割合は、全て達成率100%で統一する。)

	評価の観点 (1学期より抜粋)	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定 (行動目標)
I 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを継続する能力を高めるための運動を行うとともに、それらを組み合わせることができる。 ・滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせるができる。 ・多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・健康は、主体と環境を良好な状態に保つことにより成り立っていること、また、健康が阻害された状態の一つが疾病であることを理解できる。 	【全教科共通】 ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・実技テスト ・授業観察	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに実技テストを行う。フォーム、記録から計算した個人目標の達成度などで評価する。 【各教科 独自の方法】 ※評価基準については、授業内で提示。 例：陸上競技 バトンパスに要する時間 (バトンパスタイム) A→二人のタイム合計よりも1秒以上速い。 B→二人のタイム合計より1秒未満で0秒以上速い。 C→二人のタイム合計よりも遅い。
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 ・健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。 	【全教科共通】 ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・フォームへの入力内容と授業での取り組み状況 ・ノートなどへの課題の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードやレポートで評価をする。 【各教科 独自の方法】 ※評価基準については、授業内で提示。 例：陸上競技 その授業における、自分の課題に対してどのようなことを考えて取り組んだかをフォームにまとめる。 A→自分の課題に対して工夫して取り組み、その結果を生かせる内容の記述がある。 B→自分の課題に工夫して取り組んだ内容の記述がある。 C→自分の課題に工夫して取り組むことが読み取れない。
III 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。 ・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとするなど、交流などの話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。 ・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ることができる。 ・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付けることができる。 	【各教科の方法・資料】 ・授業観察 ・学習フォームやノートへの取り組み状況 ・学習フォームやノートへの記入内容	【全教科共通】 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 【各教科 独自の方法】 A 試合の時に、勝敗などを認め、ルールやマナーを守っている。 B 試合の時に、ルールを守っている。 C 試合の時に、ルールを守ることができない。